

平成 24 年度森林の活動体験教室 / 伊賀市立丸柱小学校報告

作成：平成 24 年 2 月 8 日 大杉谷自然学校

1. ねらい 椎茸の菌打ち体験を通して、農作物作りの面白さ、自然の恵みを体感する。
キノコの生態や森での役割を知る。
地域の人との交流を通して、地域の人々の技術や想いに触れる。
2. 対象 伊賀市立丸柱小学校 3、4、5 年生 25 名
3. 日時 平成 13 年 1 月 29 日 (火) 10:40 - 12:00
4. 場所 丸柱小学校 グラウンド
5. 講師 小林氏、福森氏、大杉谷自然学校 2 名
6. スケジュール

時間	内容	場所 / 備考
10:40-11:00	自己紹介 キノコの話	グラウンド
11:00-11:50	椎茸の菌打ち体験(グループ毎に活動) ・ ドリルで穴を空けコマ菌を打つ ・ ほだ木を学校林に運んで伏せる	
11:50-12:00	ふりかえり	

7. 活動写真



キノコの生態などの話の後、作業方法の説明を受けた。ドリルを初めて使う子の多く、真剣に話を聞いていた。グループごとに原木に穴を空け、コマ菌を打つ作業を行い、最後に原木を林の中に伏せた。ドリルを使うのは緊張したが、作業がとても面白かった、との感想が多く聞かれた。また、

8. 反省・意見など

- ・ 5 年生は昨年に引き続き 2 回目の体験だった。キノコの話や作業の手順などもよく覚えており、頼もしい存在だった。学校の授業ではなかなか機会はないが、「繰り返し」の効果を感じられた。
- ・ 地域交流が盛んな学校で、子どもたちも外部講師が授業を行うことに慣れている様子だった。小規模校だからできる事でもあるが、外部講師の多用は充実した体験学習を行うには非常に良いとの先生からのお話があった。
- ・ 丸柱小学校も統合が決まっている。長年、森林環境教育を継続してきた学校だけに、移動先の学校での取り組みが広がるよう、教職員への働きかけを大事にしたい。